

検討会議事概要

件名	平成23年度 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備計画検討業務 第三回検討会
日時	平成24年3月6日(火) 13:30~15:15
場所	志摩市商工会議所多目的ホール
出席者	<p>有識者 石原 義剛 (海の博物館 館長) 小山 充 (NPO法人 南勢テクテク会) 川嶋 富門 (三重県ウォーキング協会 会長)</p> <p>関係行政機関 小林 純子 (三重県環境森林部自然環境室 技師 代理) 櫻井 真奈巳 (三重県観光局観光・交流室 主事 代理) 山本 敏広 (三重県伊勢農林水産商工環境事務所 森林・林業室 主査) 東條 正和 (伊勢市都市整備部維持課管理係 職員) 北村 幸治 (伊勢市産業観光部観光事業課 職員) 天田 雄也 (鳥羽市観光課 代理) 山本 高弘 (南伊勢町観光商工課 観光交流係 係長)</p> <p>関係団体 上紺屋 道明 (伊勢市観光協会 事務局員) 世古 晃文 (鳥羽市観光協会 次長) 田畑 和誠 (志摩市観光協会 次長) 生賀 照央 (志摩自然学校 代表) 古田 儀之 (伊勢志摩国立公園パークボランティア連絡会 会長) 見並 喜久男 (近畿日本鉄道(株)名古屋輸送統括部運輸部事業課 主査)</p>
環境省	中部地方環境事務所：曾宮統括自然保護企画官、野村課長、桑原課長補佐、福田専門官、藤田自然保護官、村松 AR
事務局	いであ(株)：神宮、青井、望月、早坂
(資料)	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・出席者名簿及び座席表 ・資料 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備基本計画書(案)
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩国立公園近畿自然歩道等整備基本計画の検討

議事概要

1. 基本計画の検討（資料・前半）

・安楽島～的矢について複数人から意見が挙がっていたが、なぜ今後検討しなければならない事項としたのか。全体計画にいれるべきである。（石原）

→計画では伊勢から古和浦までを繋げる 240km の道をまず整備したいと考えている。安楽島～的矢に平行して青峯山のルートがあるし、安楽島のルート検討は長期かかるのでこちらを優先させた。（野村）

→面として捉え、脇道・寄り道があってもよいのではないか。また、安楽島から白浜あたりには古墳や遺跡があり、認識がなされてきている。国崎の海土潜女神社（あまかづきめじんじゃ）の存在や相差の鯨崎などは青峯山とのつながりが深い。もう少し歴史的整理が必要である。検討ではなくルートに替えて頂きたい。（石原）

・勉強不足であった。P. 29 の図に示される太線と同列に改めたい。（野村）

1. 基本計画の検討（資料・後半）

・休憩施設としていところには何が入るのか？トイレは含まれているのか。（古田）

→トイレは含んでいない。（野村）

→トイレの整備についても考えて頂きたい。山道などトイレがないところも多い。例えば菅島に追加されるルートにはトイレが必要ではないか？そのあたりも考えて整備していただきたい。（古田）

・参考資料5のおじよか古墳は、今は散逸してあとかたもなくなっている。そういうものもあるので、再度見直されたらどうか。また、磯部の玉泉庵などが指定されているが、それらは記載されていない。どのような基準で選ばれたのか。（田畑）

→県・市で指定されているものを一とおり挙げたつもりであったが、不足があるとのことなので精査したい。（事務局）

→見直すのであれば、的矢の方位石の現物が磯部にあるので、そういった価値のあるものも案内の一つとして挙げたらどうか。（田畑）

→列挙している天然記念物などは、現地を確認したわけではなく、資料をもとにした。指定が取り消されていないものは列挙している。（野村）

・12 のルート（朝熊岳金剛證寺へのみち）のなかで、地元から朝熊駅側の登山口駐車場の増設の要望があるが、今回の整備計画には含まれていない。住民からの要望でもあるので整備を検討していただきたい。（東條）

→ヒアリング時に要望があることを把握したが、用地確保等の問題があるので今回は割愛した。（事務局）

→現場を確認した上で、駐車場の整備が可能かどうかも含めて再検討し、整備計画に位置づけるかどうか考えたい。仕組み上は長距離自然歩道に付帯する施設として整備可能である。ニーズや設置

の可能性について確認し、設置について検討していきたい。(野村)

・参考資料1 利用施設②は、施設と活動団体が混在しているので書き改めていただきたい。また、参考資料3 利用施設⑤のなかで伊勢神宮内宮、外宮等は観光・文化施設でなく神社仏閣として記載すること。今回のような資料は今後も利用されうるものなので、もう少し丁寧に整理すべきである。

(石原)

・(今回の資料は) 地元のものとしてはありがたいことによく手を着けてくれたと思っている。(小山)

・私たちの団体は登山口に案内板を整備しているが、案外少なく情報も足りない。ぜひアメリカの例を見習って、特に宿泊、トイレ、駐車場などの情報を記載した看板をつけていただきたい。(小山)

・南伊勢町には龍仙山、鶴路山、牛草山といった山々があるが、その登山口がわかりにくいので案内板が欲しい。また、例えば文部科学省と連携して、地元の公民館のトイレを開放したり、荷物置き場として利用できたりといった、先進的な取り組みを盛り込んで欲しい。これから看板を整備するのであれば、これまでにないモデル的な案内板を整備していただきたい。スタート地点に駐車場とトイレ等の情報が入った看板があれば、非常に親切ではないか。(小山)

→これから看板等の整備や歩くルート等の細かい設定をする際には、地元の方に入っていていただいて健闘をしていかなければならないと考えている。そういった中で情報提供についても考えていきたい。(野村)

・いろいろな(団体が設置した) 標識が一箇所にあると混乱をまねく。整備しないことも含めて検討が必要である。(川嶋)

→看板を設置することで景観が悪くなることもあるため、そこは調整していきたい。(野村)

・歩く楽しみの一つに読図があるが、地図を読めない人、読まない人が増えている。その原因の一つとして、案内図が不親切なこともあるのではないか。こういった状況を解消するために、整備する案内板には、読図に適した国土地理院の地図に情報を載せていただきたい。(川嶋)

→国土地理院の地図自体に入れることは困難と思うが、こちらから情報発信するうえで配慮していきたい。(野村)

・麦崎・磯笛のみちでエコツアーを実施しているが、海女さんから通ってほしくないと言われたことがある。こういったことが起こらないように、自然歩道の整備に当たっては、標識等により一般の人が通る道であるということを地域の人に認識してもらう必要がある。(生賀)

→今回の設置に際して、改めて地元との調整を図りたい。(野村)

・近畿自然歩道が国土地理院の地図にないばかりか、現状では山道自体が記載されていない状況にあるので、近畿自然歩道の地図を用意していただきたい。(古田)

→情報発信の方策検討のなかで、最適な縮尺を検討して地図を用意したい。(野村)

・以前にも意見として挙げたが、宮域林を通ることについて早めに神宮に相談に行った方がよい。来年は遷宮もあるため、しっかり調整すべきである。(上紺屋)

→内宮から五ヶ所へのルートは長期の行程で検討する予定であるため、遷宮のタイミングで整備を進めるものではない。ただし、神宮との相談は早めに行なっていきたい。(野村)

・参考資料-5 表 1.9 の高倉山古墳は入山禁止なので確認をお願いしたい。参考資料-3 の伊勢神宮内宮は天照大神ではなく天照大御神、伊勢神外宮は御饌都神ではなく豊受大御神であるので、修正をお願いしたい。(上紺屋)

・「住民の方に配慮しましょう」など人に優しく接することのできるよう標語を標識の支柱に入れると良い。他所にない立派な看板というのは豪華なのではなく人に配慮できることをいうのだと思う。(見並)

→地元のリールを盛り込めるよう考えていきたい。(野村)

・参考資料 1 利用施設②に海女資料館を加えていただきたい。また、参考資料 3 の利用施設⑤の塩仏は潮仏の間違いであるので修正していただきたい。(田畑)

・P. 50 の「5.2 運営・管理」について、維持管理体制のビジョンはあるか。例えば NPO 法人の立ち上げなどを想定しているか。(上紺屋)

→NPO などを設立するのではなく、区間毎に日常的に見てもらふ必要があると考えている。例えば南伊勢であればテクテク会というようなイメージである。区間毎に相談させていただき、体制を決めていきたい。また、そういった体制の中で破損があれば環境省に連絡していただき、修理するということを考えている。(野村)

・資料について、誤字脱字等指摘があれば、今週中にご連絡願いたい。(野村)

以上